



## 2023本社総支部 新春安全の集い



1月11日(水)ホテルグランヴィア大阪において、分会代表者が集い、2023本社総支部新春安全の集いを開催した。

冒頭、柘田委員長よりコロナ禍で日々奮闘されている組合員への感謝とお礼を申し上げるとともに、2023 春闘では厳しい経営環境のなか組合員が努力し乗り越えようとしていることを訴え、組合員とその家族の生活を守るため一致団結して成果を勝ち取っていきこう。日々の世話役活動や仲間同士の声掛けを積極的に行い、安全を

基礎に労使一体となってこの難局を乗り越えようと呼び掛けた。

続いて、来賓の中央本部羽野書記長より、最近気になる事象が多く発生している。福知山線列車事故など人の命を奪う事故を発生させてしまえば、ご被害者のみならずご家族や周りの方々の人生を大きく変え、当たり前を奪ってしまうことを改めて心にとめて欲しい。2023 春闘については、消費者物価指数の急激な上昇が見られ、今賃金ベースを上げないとその他企業との賃金格差が広がり、JR 西日本が選ばれない企業となってしまうため、しっかりと会社へ訴えていきたい。と挨拶を頂いた。

講話では、福知山線列車事故ご被害者対応本部の若手組合員4名より『事故を心に刻むとは』、『真摯に対応するとは』、『自分に出来る事とは何か』など事故後入社し日々自問自答しながら対応している様子や想いをディスカッション等交え、話して頂きました。



### ◎ ご被害者対応本部 若手組合員による講話概要

講話者それぞれの担当(風化防止の取り組み、事故車両保存、ご遺族様担当、ご被害者様担当)における想いや状況を話して頂きました。

#### 【心に刻む考動】

- 事故のことや安全への取り組みについて、自分の言葉で説明できるかを自問し、ご自身の言葉で説明できるようになってほしい。
- 事故を心に刻むとはどういうことか、そのために何が出来るのか?について自分なりの考えを持って、自分の言葉で職場の仲間と共有してほしい。
- 事故車両保存施設の動向などの情報について関心を持って情報収集してほしい。
- 社内誌や祈りの杜だよりなどを読み、祈りの杜に行き、事故を振り返り決意する機会を持ってほしい。

### ■ 本社総支部 大西副委員長挨拶 ■



ご被害に遭われた方々の対応を行って頂いている仲間がいる事を忘れてはならない。今日それぞれが感じた事を思い返すことで、改めて事故と向き合い2度と起こさないと胸に刻み、ルールを策定

する際、現場で働く仲間が使いやすいルールとなっているのかという視点を忘れず、事故を心に刻み業務を行って欲しい。

これからも JR 西労組は、安全最優先としてチェック機能を果たし、将来に渡り安全な鉄道を築き上げてために運動を展開していく事をお誓い申し上げます。

### 本社総支部「事故を考える集会」の再開!

「事故を考える集会」を3月より再開し、隔月で実施いたします。分会組合員の積極的な参加をお願い致します。